



新町橋際には親水護岸と浮き桟橋による水上ステージが設けられている



ボードウォーク上での骨董市



水辺には新しい情景が生まれた

DATA・BOARD ③2

- ①徳島県徳島市東船場1～2丁目
- ②公園面積：2,331㎡，ボードウォーク延長：287m・面積：1,912㎡
- ③JR高徳線徳島駅から徒歩5分，徳島自動車道徳島ICから車で約15分
- ④藍場浜公園，新町川水際公園，徳島中央公園
- ⑤パラソルショップ



32 しんまちボードウォーク



徳島市では、市街地中心部の活性化対策を検討してきたが、地元から提案された活性化案を検討し、市と民間の協力により実現したものが、「しんまちボードウォーク」である。

この整備事業は、市内中心部を流れる新町川河畔に板張りの散策路（ボードウォーク）を整備し、合わせて周辺環境の整備を行ったものである。

ボードウォークの整備が行われた区間は、両国橋から新町橋までの区間で、水と緑をテーマに公園の整備も行われた。両国橋に隣接する両国公園には、既存の樹木を利用した緑のステージが設けられ、新町橋方の新町公園には、新町川を背景にした親水護岸と浮き桟橋で構成される、水のステージが設置されている。

整備後のボードウォークでは、クラシックコンサートやファッションショーをはじめ、骨董市、パラソルショップなどのイベントも開催されており、新たな市民のコミュニティ活動の場が生まれたほか、散策の場としても親しまれている。

また、これまでは川に背を向けていた店舗がボードウォーク側に向きを変えたり、東船場表通りの建物の再開発も始まるなど、地域商業の活性化にもつながっている。